

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日 平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名 (農業基盤改修助成事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (040102000847), 政策体系 (総合計画の施策名: 0401 農林業の振興), 予算科目 (010601050200), and 法令根拠 (桜川市土地改良事業補助金交付規程).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about agricultural base improvement and administrative tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), and ③意図 (成果指標). Shows trends for indicators like application counts and implementation rates from 29th to 30th fiscal year.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume (costs) for 29th, 30th, and 31st fiscal years. Includes sub-categories like 国庫支出金, 県支出金, and 事業費計 (A).

Table comparing 30th fiscal year actual results (実績) and 31st fiscal year budget (予算) for 19 burden subsidy and delivery. Total actual: 578, Total budget: 3,096.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する (Main activities: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, etc.).

事務事業名	農業基盤改修助成事業	事務事業No.	40102000847	所属課	農林課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	昭和35年に、土地改良事業補助金交付規程が施行され、受益者が使用する公共財産の維持管理を自ら行い、その経費の一部について補助することを目的として開始された。本事業は、旧岩瀬町のみで実施されていた事業で、合併後桜川市に引き継がれた。平成26年度には桜川市土地改良事業補助金交付規程を全部改正し、主に補助金交付の手続きについて明確化した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	補助を受けている団体からは感謝の声があがっている。一方、年度によって予算の都合により申請を受けられないものもあったことに対し、「補正等で対応して欲しい」という意見もあった。地区によっては「100%補助して欲しい」等の意見もあがっている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 自主的な修繕を行う事で、施設としての機能が正常に保たれ(適正に管理される)、農山村の振興に結び付つく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 用排水路等は市の財産である。また、水路等の公共施設は農地に欠かせない施設であるだけでなく、地域周辺の生活又は防災施設等の役割も担っているため、公共の関与が必要だと思われる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、申請のあった全ての団体に助成しているが、申請内容が用水に関連する事業が多い。申請団体等に対し、適切な維持管理について指導していくことで、成果の向上余地が見込める。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 管理が不適切なまま放置され、災害や事故が多く発生する事態を招きかねないと思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 農業基盤改修のための事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現状最低限であるためこれ以上削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 補助率を見直したことで、公平性が保たれている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性については見直し余地のあるものの、事業実施者への監督及び指導の機会を増やす必要が生じ、人件費の増加も考えられる。対象施設の老朽化に伴い、申請額の高額化も想定されるので、受益者負担工事との関連性を保ちながら、バランスのとれた事業推進が求められる。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
多くの農業基盤施設について、老朽化が著しい状況である。今後、施設更新等の申請に対して受益者負担とのバランスを考慮しながら事業を推進していく。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認